



クイックスタートガイド - CLB Paper - Android

目次

1. 概要	2
2. CLB Paperをはじめよう	3
3. ワコム クリップボードを接続する.....	4
4. 印刷された帳票をはさむ.....	5
5. 帳票に記入する	6
6. 帳票を保存する.....	6
7. 設定	7
7.1. ワコム クリップボード	7
7.2. OneDrive - オンライン/オフラインでの利用	8
7.3. 証明書の管理	10







1. 概要

CLB Paperは、ワコム クリップボード (PHU-111) で普通紙に印刷された帳票に記入する際に使用するアプリケーションです。帳票に書いている間、CLB Paperにペンで書いている内容がリアルタイムで再現されます。完成した帳票を保存すると、ペンで書いた情報は、フィールド内容がテキスト、筆跡データを含んだ署名、フリーハンド図の指定されたフォーマットに変換されてPDF文書に保存されます。フィールド定義は、CLB Paperで使用されるバーコードが付与されたPDFファイルを生成する、CLB PaperとペアになるアプリケーションCLB Createを使用して作成されます。帳票に印刷されたバーコードは、同じPDF文書データのテンプレートにリンクします。

通常のワークフローは以下のステップになります。

- CLB Paperを起動します
- ワコム クリップボードPHU-111に接続します
- CLB Createで作成した、バーコードが印刷された帳票をワコム クリップボードにはさみます。すぐにクリップボードがバーコード(ID)を認識してCLB Paper上に選択された帳票が表示されます
- ワコム クリップボード上に専用のボールペンで書き込むとペンのインクがCLB Paper上にリアルタイムに再現されます

ステータスエリアにあるアイコンの意味は以下のとおりです。

-  - ワコム クリップボードと接続しています
-  - OneDriveと接続して同期しています
-  - PDFドキュメントの並び替え
-  - 書込んだ帳票の保存
-  - デジタル証明書の選択
-  - 設定

CLB Paperで帳票への書き込みなどのプロセスを終了するには、標準のAndroidデバイスの[戻る]ボタンを使用します。通常は、[ホーム]ボタンの左側にあります。

2. CLB Paperをはじめよう

最初にCLB Paperを起動したときは画面上の案内にしたがって以下のステップを完了させます。

- ワコム クリップボードと接続します。(以下をご参照ください)
- OneDriveアカウントにログインし、作業フォルダを選択します
同期されたクラウドドライブは、CLB Createと帳票を共有するために使用されます。
記入・署名付きPDF文書と記入・署名なしPDF文書の両方がOneDriveフォルダに保存
されます。詳細については、設定を参照してください。
- 完成した帳票の電子シールに使用するデジタル証明書を作成し、証明書を使用する
ために必要なパスワードを入力します。

各種設定はあとで変更することができます

3. ワコム クリップボードに接続する



ワコム クリップボードのボタン、インジケータの各種説明

- ❶ 電源ボタンは本体の正面左側上面にあります
- ❷ ブルーのLEDはBluetoothの接続状態を表示しています
点滅：ペアリングをしています
点灯：接続されています
- ❸ グリーンのLEDはCLB Paperがワコム クリップボードで書き込んだ情報を受信できる状態であることを示しています
- ❹ Bluetooth®の接続ができていてもCLB Paperが書き込んだデータを受信できない状態で書き込みを開始するとビープ音がなり注意を促します
例：ブルーのLEDがONでもグリーンのLEDがOFFの状態でも書き始める
- ❺ オレンジのLEDはパワーランプです。充電時には点滅します。
- ❻ 正面右の大きなボタン(プロセスボタン)を押すと書き込んだ内容と元のレイヤーを統合します。AndroidとのBluetooth®ペアリングにも使用します。
- ❼ USB有線接続モードとBluetooth®無線接続モード \star のセレクタースイッチです。

CLB Paperは接続にBluetooth®を利用しており、以下のアイコンはその接続状況を表しています。



- ワコム クリップボードが接続されています



- ワコム クリップボードが接続されていません

画面の指示に従ってワコム クリップボードに接続してください。
Bluetooth®デバイスはCLB Paperとペアリングされている必要があります。
複数台のワコム クリップボードがある場合は、ペアリングリストから
1台のワコム クリップボードを選択し、ペアリングすることができます。



バッテリーを節約するために、ワコム クリップボードは使用していないときに自動的に電源が切れます。ワコム クリップボードが接続されていない場合は、CLB Paperとの接続を設定する前にデバイスの電源を入れます。デバイスの青色のLEDは、接続が成功したことを示します。

4. 印刷された帳票をはさむ

印刷された帳票は、CLB PaperとペアになるアプリケーションCLB Createによって作成されます。このアプリケーションにより、ペン入力が必要とするフィールドはアクティブフィールドとして認識され、識別のためにページヘッダに固有のバーコードが追加されます。



クリップバーを開いて印刷された帳票を一番左の位置にあわせて、奥まで完全にはさみこみます。クリップを離すと、クリップバーの下にあるバーコードがスキャンされ、バーコードにより識別された用紙のバーコードデータがCLB Paperに送信されます。

CLB Paperは、ドキュメントライブラリ内の同じバーコードに対応するPDFテンプレートを検索します。対応する文書が見つかったら、ワコム クリップボードの緑色のLEDが点灯し、アクティブなフィールドを示すPDFテンプレートが表示されます。例えば、次のようになります。

5. 帳票に記入する

ペン入力を必要とするフィールドは、灰色のアクセントが付いた表示になります。必須入力のフィールドはスター★が付きます。

ワコム クリップボード上の紙の帳票に記入すると、ペンのインクがCLB Paperにリアルタイムで表示されます。

書き込んだ帳票を破棄するには、Androidデバイスの[戻る]キーを使用して[変更を破棄]を選択します。

6. 帳票を保存する



アイコンを2秒間押し続けると、文書がシールされます。または、ワコム クリップボードのプロセスボタンを押します。

画面上の表示に従って、デジタル証明書で帳票をシールします。必要なフィールドが完了していない場合はダイアログが表示され、帳票の作成を続行するか戻るかを選択できます。

元の文書テンプレートPDFは、シールされた文書として保存され、デジタル証明書で署名され、指定されたフィールドタイプのテキスト、署名、およびフリーハンドのペンデータが含まれます。

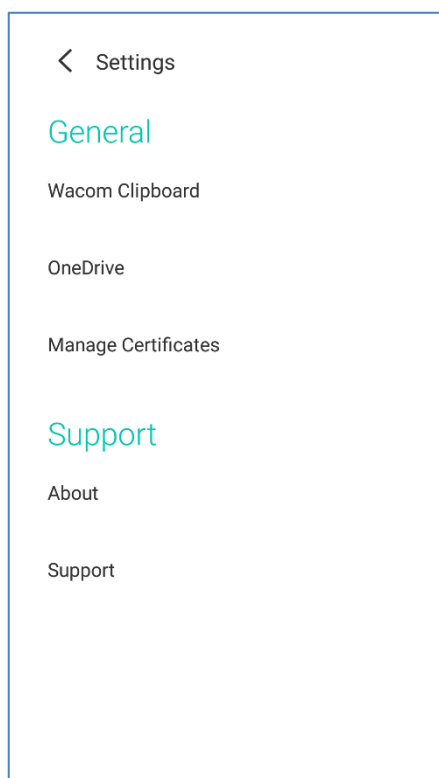


ワコム クリップボードのプロセスボタンを押し続けるとBluetooth®のペアリング設定が始まるので、押しつづけないようにしてください。

7. 設定



クリックすると設定画面に移行します



7.1. ワコム クリップボード

接続しているワコム クリップボードの名前とバッテリーの状態を表示します。

画面上の指示に従って、Bluetooth®**ペアリング設定**を開始します。この手順の過程で選択したデバイスの名前を入力できます。

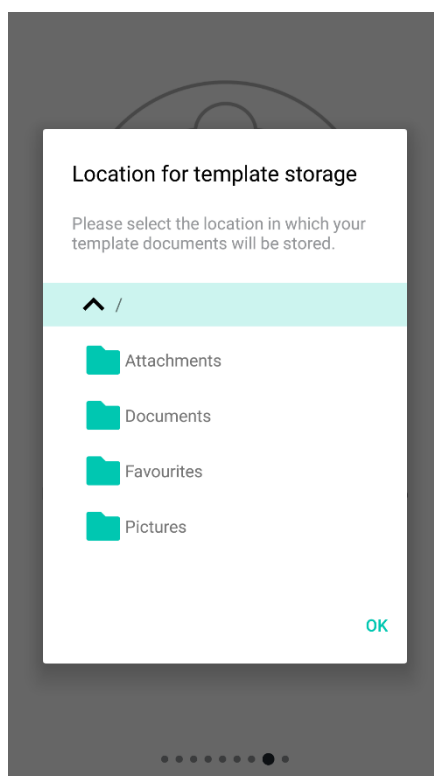
7.2. OneDrive - オンライン/オフラインでの利用

オンラインストレージをご利用になるには、OneDriveを使用します。ドキュメントテンプレートと作成されたドキュメントは、OneDriveフォルダで自動的に同期されます。





OneDriveにログインすると、OneDriveフォルダが2つ選択されます。

- テンプレート格納場所 - このフォルダには、対応するアプリケーション（CLB Createなど）によって生成されたテンプレート文書が含まれています。CLB Paperで作成および読み込みを行います。テンプレートには、バーコードによる識別と定義づけされたフィールド情報が含まれています。
- ドキュメント保管場所 - このフォルダはCLB Paperがアプリケーションによって記入され、シールされたドキュメントを保存するために使用されます。

使用可能なフォルダの1つを選択します。たとえば、次のようになります。



クラウドアイコンの表示は以下の状態を表しています

-  - OneDriveと接続して同期しています
-  - OneDriveと同期しています
-  - OneDriveと同期していません
-  - OneDriveからログアウトしています CLB Paperはオフライン状態です

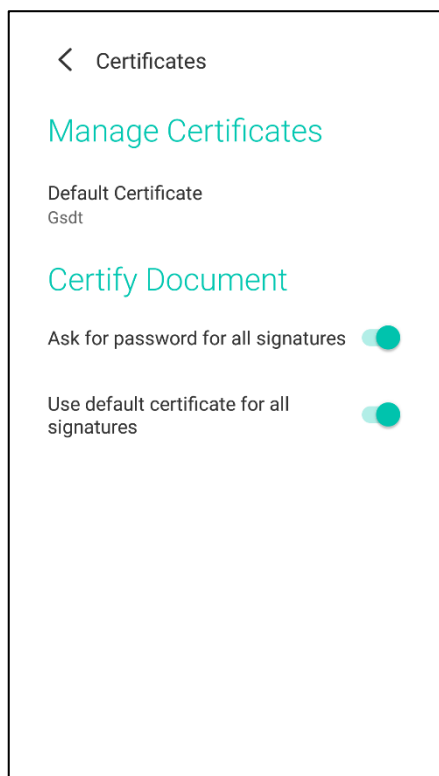
たとえば、インターネット接続が利用できない場合など、オフラインで作業するには、OneDriveからログアウトする設定を使用します。

オフライン利用を選択すると、アプリケーションは両方のドキュメントタイプに単一のAndroidフォルダ「CLB Paper」を使用します。OneDriveからフォルダへのファイルの自動転送は行われませんので、テンプレートとシールされた文書を手動でコピーする必要があります。

7.3. 証明書の管理

最初にCLB Paperを実行すると、画面上にガイドが表示され、新しい書類をシールするために使用されるデジタル証明書が作成されます。

この設定を使用して、証明書の処理方法を変更します。



[標準の証明書]をクリックして新しい証明書を追加し、CLB Paperで使用される標準の証明書を選択します。